

福島県水環境保全基本計画（答申案）〈概要版〉

福島県生活環境部水・大気環境課

1 計画改定の経緯

東日本大震災後の情勢を踏まえ、見直す必要性が生じたため、計画の見直しを行うこととしました。

2 計画の目標年度

平成 32 年度

3 計画の期間

8 年間（平成 25 年度～平成 32 年度）

4 計画の位置づけ

上位計画である「福島県総合計画」や「福島県環境基本計画」の実現に向けて、水環境の面から取り組んでいくものです。

また、「福島県水資源総合計画」などの関連する計画と連携をとりながら、総合的な施策の推進を図ります。

5 主な改正点

- 基本方針に「放射性物質による環境汚染からの水環境の回復」を追加
- 猪苗代湖の水質日本一復活を目指し、COD や大腸菌群数の目標値を設定
なお、これまでの取組状況や東日本大震災後の情勢を踏まえた現行計画の施策及び数値目標の時点修正も行いました。

○ 基本方針に「放射性物質による環境汚染からの水環境の回復」を追加
(7 ページ)

第 2 章 基本理念と基本方針

2 基本方針

(1) 放射性物質による環境汚染からの水環境の回復

安心な飲み水を求める県民の願いを踏まえ、水道水や井戸水などの飲み水、河川や湖沼などの公共用水域、水浴場などの水とのふれあいの場といった県内の水環境における放射性物質による汚染の状況についてきめ細かなモニタリングに取り組み、その結果を迅速に公表することで、安全・安心を確保していきます。

また、放射性物質による汚染からの早期回復を図るため、生活圏における除染を優先して進め、放射性物質の量を減じていくとともに、源流域はもとより、水源地でもある森林や農地、河川や湖沼などの公共用水域における放射性物質の蓄積状況や移行状況の調査など、各種調査研究

に取り組み、水環境を回復するための有効な施策を立案していきます。

(29ページ)

第4章 目標達成のための総合的施策

1 放射性物質による環境汚染からの水環境の回復

(4) 施策の内容

ア 飲み水、河川・湖沼・地下水などの放射性物質モニタリング等

【施策の数値目標】 (省略)

公共用水域等の水質及び底質の基準値が設定されていないことから、水浴場以外の目標については現時点での設定は困難であり、今後検討していきます。

- 水道水や井戸水などの放射性物質モニタリングを継続して実施し、その結果を迅速かつわかりやすく情報提供することで、飲み水の安全・安心の確保に努めます。
- 河川や湖沼などの公共用水域や地下水について、汚染状況のモニタリングを継続し、その結果を随時公表していきます。また、比較的高い線量が確認された地域では、よりきめ細かな調査を行います。
- 水浴場における湖水・海水の放射性物質モニタリング及び環境放射線モニタリングを継続して実施し、利用者の安全・安心を確保します。また、親水公園及び水環境保全活動を行う上で重要な水辺地の環境放射線モニタリング結果についても、県民や利用者に対し広く情報提供することで、公園の利用促進及び活動への参加促進を図ります。
- 森林や農地の汚染状況のモニタリングに努め、河川・湖沼・地下水などへの影響について監視していきます。

イ 放射性物質による水環境への影響に関する調査研究の推進

- 河川、湖沼などにおける放射性物質による汚染状況の実態調査を行い、現状を把握していくとともに、湖沼における放射性物質の蓄積状況や河川を通じた移動による影響を明らかにすることにより、放射性物質による汚染からの水環境の回復について検討していきます。

また、その成果を県、国、市町村、各種活動団体などで共有し、除染や環境回復に活用していくことにより、県民の安全・安心につなげていきます。

さらに、調査研究の成果を広く発信する場を設け、水環境を守る活動を再構築することにより、参加の拡大を図り、県内外に裾野を広げていきます。

○ 猪苗代湖の水質日本一復活を目指し、COD や大腸菌群数の目標値を設定
(12 ページ)

第3章 目標

○ 水質保全目標

(1) 水質の項目別目標

① 公共用水域の生活環境項目の水質保全目標

〈目標〉

Ⅲ 猪苗代湖

○ 県の水環境のシンボルである猪苗代湖については、水質日本一への復活を目指します。

(14 ページ)

表2 猪苗代湖の生活環境項目の目標値

項目	区分	現況値	目標値
		平成23年度	平成32年度
COD	湖心	1.1 mg/l	0.5 mg/l
大腸菌群数	湖心	7,900 MPN/100ml	1,000 MPN/100ml

※COD：全層年間75%値

大腸菌群数：表層年間最大値

※COD（湖心）については、中間目標値として0.9 mg/l（平成28年度）を設定する。

表3 猪苗代湖（湖心）におけるCOD・大腸菌群数の推移

単位：mg/l（COD）、MPN/100ml（大腸菌群数）

年度	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23
COD	0.6	0.5	0.7	0.7	0.8	0.7	0.7	1.0	1.1	1.1
大腸菌群数	4.5	2	4.5	790	2200	1300	490	2400	7900	7900
ランキング順位	1位	1位	1位	1位	—	—	2位	—	—	—

※COD：全層年間75%値

大腸菌群数：表層年間最大値

※「—」はランキングの評価対象外であることを示す。大腸菌群数が環境基準値（1,000 MPN/100ml）を超過した場合、ランキング評価対象とはならない。